

環境経営レポート

有限会社 日置川清掃

2025 年度

(対象期間: 2025 年4月1日～ 2026 年3月31日)



発行日： 2026年5月1日

□ごあいさつ

私たちが直面する地球温暖化問題は、現代を生きるものにとって重要な課題です。

私たちは環境問題に取り組み、環境保全で“明るい未来の街づくり”を組織及び各人がその役割を担い、自らの事業の発展を求めて環境保全意欲増進のための活動を促進するために地域顧客と共に考え施策を講じていきます。

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	1
環境経営方針	2
組織の概要	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
許可の内容	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7, 8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9

環境経営方針

【基本理念】

環境経営が重要課題であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、有限会社日置川清掃の全社員が自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。当社の産業廃棄物収集運搬・中間処理における環境負荷を減少させ、リサイクル率を高める事業活動に取り組むため、次のように定めます。

《事業基盤の強化・拡大》

- ・適正処理の更なる推進と環境再生に努めます。
- ・産業廃棄物の適正な収集運搬及び処理を促進するための人材を育成します。
- ・最終処分量削減によるコスト削減や再生資源化率向上を目指します。

《C S R活動への積極的な取り組み強化》

- ・温室効果ガスの排出による環境への負荷を出来る限り低減します。
- ・非常災害により生じた廃棄物の処理に積極的に協力します。
- ・環境保全や雇用の拡大に努め、地域社会の健全な発展に貢献します。

【環境保全への行動指針】

- ①環境関連法規性や当社が約束したことを遵守します。
- ②次の項目について環境経営目標を定め、実施計画を立て継続的改善に努めます。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 地球温暖化防止のためCO2排出量削減 | 6 再資源化品の販売促進 |
| 2 電力使用量削減 | 7 水資源の保護 |
| 3 収集運搬車等の燃料削減 | 8 グリーン購入の推進 |
| 4 受託廃棄物の再資源化促進 | 9 人材育成、環境教育普及啓発等の推進 |
| 5 自社排出一般廃棄物の削減 | |

実施計画に定めた各種指標等、取組項目ごとの進捗状況について、目標値や過去の実績値比較評価を行い、事業活動に係る環境配慮等の情報を当社に働くすべての従業員に周知し、環境レポートを社外に公表します。

制定日 2006年 5月 1日
改定日 2012年 7月14日
改定日 2017年 8月 8日
改定日 2019年12月12日

代表取締役 廣田 稔雄



組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 日置川清掃
代表取締役 廣田 稔雄

(2) 所在地

本 社(登記上) 和歌山西牟婁郡白浜町日置2039番地の64号
処理施設及び事務所 和歌山西牟婁郡白浜町日置大古537番地の126号
土壌改良材置き場 和歌山西牟婁郡白浜町日置大古537番地の44号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 工場長 浅井 康紀 TEL : 0739-87-2027
環境事務局長 営業部 武田 貴稔 TEL : 0739-87-2027

(4) 事業内容

一般廃棄物の積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
産業廃棄物の一部積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
再資源化品の製造販売及び太陽光の売電事業

(5) 事業の規模

法人設立 1988年1月14日
資本金 300 万円
売上高 19,359 万円

	事務所	処理施設・土壌改良材置き場
従業員	19名	
延べ床面積	174 m ²	5,052 m ²

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	6,886 t
中間処理量	6,851 t
(うち再資源化量)	6,397 t
最終処分量	885 t

車種	台数
12 t 脱着式コンテナ専用車	2 台
4 t 脱着式コンテナ専用車	4 台
2 t 脱着式コンテナ専用車	1 台
8 t ユニック車	1 台
3 t ユニック車	1 台
3 t パッカー車	1 台
2 t パッカー車	2 台
平ボテ車	1 台
軽トラック	1 台
合計	14 台

重機・その他	台数	備考
バックホー	6 台	燃料：軽油
タイヤショベル	2 台	燃料：軽油
フォークリフト	2 台	燃料：軽油
清掃機器	1 台	搭乗式スィーパー
合計	11 台	

主要設備

名称	台数	備考
混合廃棄物選別プラント	1 基	120m ³ /日
破砕機(S S C-12040)	1 基	2.88 t/日
破砕機(B R 120 T-1型)	1 基	121 t/日 (木くずに限る)
圧縮・梱包施設	1 基	0.28 t/日 (軟質系廃プラスチック類に限る)
発泡スチロール減容器	1 基	0.18 t/日
缶圧縮施設	1 基	4.35 t/日 (一般廃棄物のみ使用)

積み替え保管施設

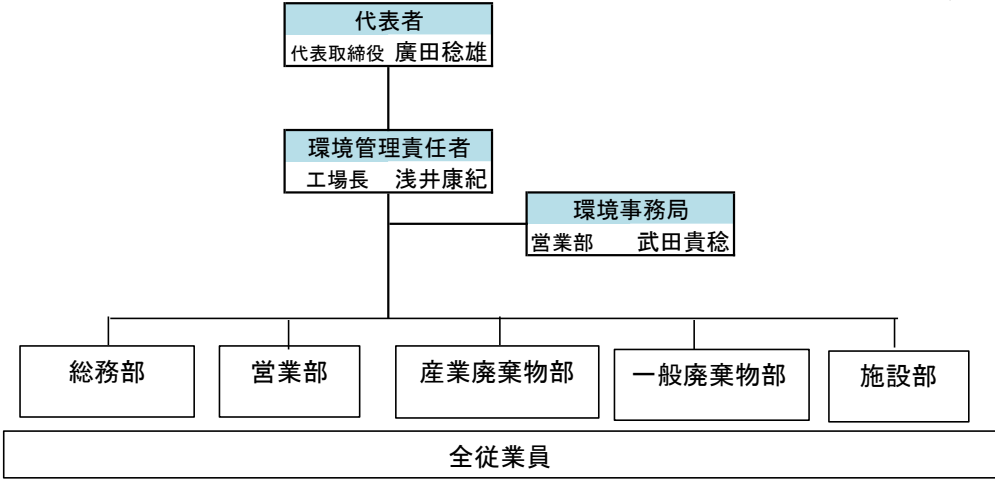
名称	保管面積	保管上限	備考
事務所保管施設	115.33 m ²	0.9 m	屋外及び屋内

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社 日置川清掃
対象事業所： 事務所・処理施設及び土壌改良材置き場
活動： 一般廃棄物の積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
産業廃棄物の一部積替え保管を含む収集運搬及び中間処理
再資源化品の製造販売及び太陽光の売電事業

環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2025年5月1日



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	●環境経営に関する統括責任 ●環境経営システムの実施に必要な人、設備・費用・時間等経営資源を準備 ●環境管理責任者を任命 ●環境経営方針の策定・見直し ●環境経営目標・環境経営計画書を承認 ●代表者による全体の評価と見直し・指示 ●環境レポートの承認
環境管理責任者	●環境経営システムの構築・実施・管理 ●環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ●環境経営目標・環境経営計画書を確認 ●環境活動の取組結果を代表者へ報告 ●環境レポートの確認
環境管理事務局	●環境管理責任者の補佐 ●環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ●環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ●環境活動の実績集計 ●環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ●環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ●環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ●環境レポートの作成・公開(事務所に備付けと地方事務局への送付)
部門長	●自部門の従業員における環境経営方針の周知 ●自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ●自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ●自部門に必要な手順書の作成及び手順書により実施 ●自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ●試行・訓練を実施、記録の作成 ●自部門の問題点の発見・訂正・予防処置の実施
全従業員	●環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ●決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

□許可の内容

一般廃棄物処理・収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	備 考
白浜町	第8700225号	令和8年4月1日	令和10年3月31日	

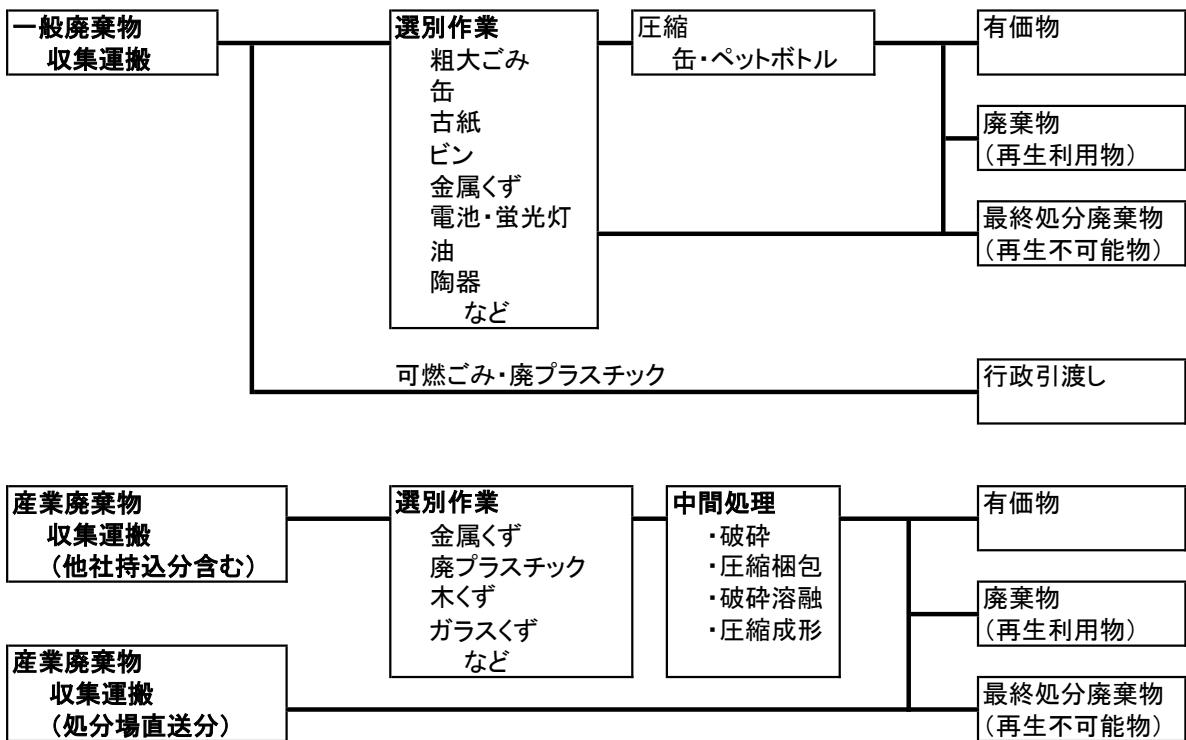
産業廃棄物収集運搬業許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	積替保管	廃棄物の種類													
					燃え殻	汚泥	廃油	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラ・コン・陶器くず	がれき類	鉱さい	ばいじん
和歌山県	第03016070300号	令和7年7月8日	令和12年6月1日	有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府	第02700070300号	令和6年8月30日	令和11年8月29日	無		○		○	○	○	○		○	○	○	○		
奈良県	第02900070300号	令和7年8月17日	令和12年8月16日	無	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

産業廃棄物処分許可の内容

許可区域	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	事業の範囲	廃棄物の種類											
				中間処理	燃え殻	汚泥	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラ・コン・陶器くず	がれき類	鉱さい	ばいじん
和歌山県	第03026070300号	令和6年10月28日	令和9年5月16日	破碎			○	○	○	○	○		○			
				圧縮梱包			○									
				破碎・溶融			○									
				選別			○	○	○	○	○	○	○	○		
				圧縮成形	○	○	○	○	○	○			○		○	○

□廃棄物処理フロー



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	346,666	320,595	249,213
Scope1 (化石燃料)	kg-CO ₂	252,528	231,882	189,893
Scope2 (電力)	kg-CO ₂	94,138	88,713	59,320
受託収集運搬量	トン	4,530	6,886	3,498
受託中間処理量	トン	4,404	6,851	3,288
受託最終処分量	トン	813	885	317
廃棄物排出量				
産業廃棄物排出量	トン	256.31	214.11	214.11
		0.444	0.444	0.444
		RICOH電気	RICOH電気	RICOH電気

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

年 度		基準年(2021年)	2025年度		評 価	2026年度
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	220,549	189,672	133,603		187,467
基準年2022年	基準年度比		86%	28%	○	85%
	kg-CO ₂	97,924	84,214	59,320		83,235
	基準年度比		86%	28%		85%
売上高原単位	kg-CO ₂ /千円	0.460	0.396	0.299	○	0.391
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	302,144	290,058	189,893	○	287,036
	基準年度比		96%	63%		95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	400,067	374,272	249,213		370,272
一般廃棄物の削減	kg	872,843	759,373	653,900	○	759,373
	基準年度比		87%			87%
受託廃棄物のリサイクル率の向上	%	—	87%	92.6%	○	88%
水の削減	m ³					
	基準年度比					
環境に配慮した収集運搬	行動目標(次項による。8P)					

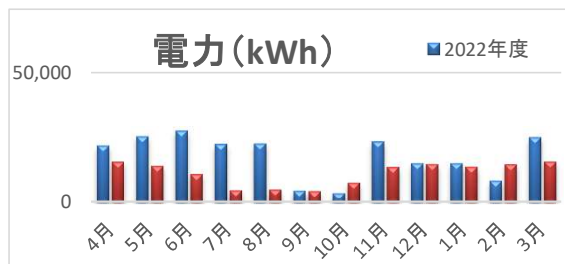


環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

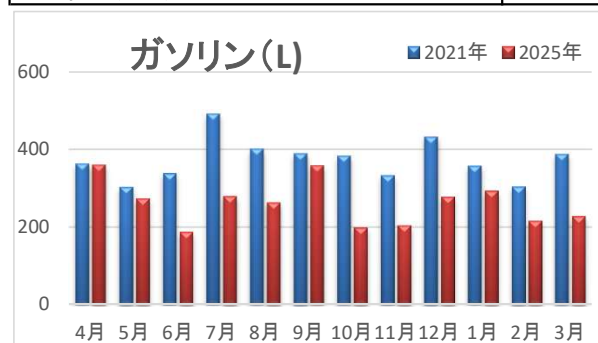
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	達成できました。
事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯している	○	ただ消費量の多い製鋼副資材プラントの故障で稼働していない時期が数ヶ月あったのが要因です。製鋼副資材プラントの稼働状況が達成・未達成に大きな影響があります。
ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯している	○	来年度はプラントの通年稼働を念頭に活動していきます。
夏季における軽装、冬季における重ね着など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている	○	

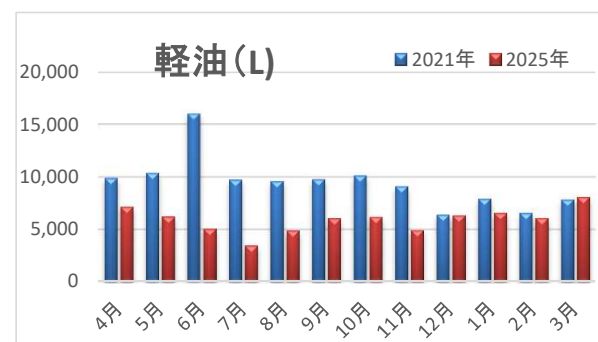


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2022年度	21,694	25,214	27,386	22,257	22,456	4,481	3,525	23,174	14,995	14,995	8,303	24,820
2025年	15,487	14,003	10,781	4,628	4,955	4,247	7,557	13,525	14,645	13,598	14,559	15,618

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	環境に配慮した収集運搬の実践が結果に出ています。次年度も実践していきます。
・効率的な訪問先のルートの設定	○	
・急発進急加速の防止	○	
・油圧リリーフの防止	○	
・波状運転の防止	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	364	304	339	493	402	390	384	334	433	358	304	388
2025年	361	274	188	280	264	359	199	205	278	294	216	228



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	9,855	10,347	15,998	9,715	9,560	9,755	10,098	9,093	6,385	7,904	6,543	7,813
2025年	7,140	6,198	5,032	3,437	4,869	6,041	6,168	4,905	6,307	6,537	6,070	8,065

環境に配慮した収集運搬	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている	○	毎日出発前や営業終了時に、車両担当者による左記記載内容などの確認を行っています。 その結果、軽油などの節約にも繋がっています。  
エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止など）を励行している	○	
デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーなどエコドライブ関連機器を導入している	○	
タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値（メーカー指定の空気圧）を保つようにしている	○	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
NOx・PM法	収集運搬車
騒音規制法	破砕機、缶圧縮機
振動規制法	破砕機、缶圧縮機
水質汚濁法	積替え保管の「廃油」
消防法（危険物）	指定可燃物保管「ぼろ及び紙くず」「木くず」「合成樹脂類」
フロン排出抑制法	業務用空調機、重機のアコン
和歌山県公害防止条例	破砕機、圧縮機、ふるい、ペルコン2基
顧客要求事項	

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

過去3年間苦情はありません。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 消火訓練
■実施日： 令和8年3月26日
■参加者： 全社員
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☐ 避難訓練
■評価： 手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子  昨今、リチウムイオン電池が原因の火災が多発していますので、今年は消火訓練をしました。

代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 廣田 稔雄

実施日：2026/5/11

2025年度は製鋼副資材プラントの故障で電力量は少なくなりました。事業活動を考えると残念な結果です。新年度は製鋼副資材プラントの通年稼働を目指し、メンテナンスを怠らず、丁寧な運用を心掛けていきましょう。

今、ホルムズ海峡の問題もあり、大変な1年になりそうですが、こんな時だからこそ 従業員一同の知恵と努力を結集し、エコ活動と事業活動を両輪に、企業基盤の更なる強化に努めてまいります。

企業基盤の強化に繋がる提案を積極的に行うことを指示しました。

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

☒ 変更なし
☒ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☐ 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

□会社周辺の河川清掃



令和7年6月環境月間に伴い、会社周辺の清掃活動を行いました。
皆さん、お疲れ様でした。